

2026 年 10 月 29 日

報道関係者各位

株式会社 FRONTEO

FRONTEO とマルホ、皮膚科領域における創薬標的探索の 第 2 弾共創プロジェクトを開始

新規性のある創薬標的の探索とエビデンスに基づく
仮説構築を通じ、革新的な医薬品創出の加速を目指す

株式会社 FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下「FRONTEO」）は、マルホ株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：杉田 淳、以下「マルホ」）と、AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory（以下「DDAIF」）」を活用した、皮膚科領域における創薬標的探索に関する第 2 弾共創プロジェクトを開始したことをお知らせします。



両社は 2025 年 7 月、皮膚科領域における新規創薬標的の探索を目的とした第 1 弾の共創プロジェクトを開始しました^{*1}。同プロジェクトにおいて FRONTEO は、自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」^{*2}による解析と、創薬研究者チームによる調査・考察を組み合わせることで、複数の標的候補を見出すとともに、その作用メカニズムを説明する仮説を構築しました。この取り組みにおいて、複数の創薬標的候補が見出され、現在、マルホにおいて細胞等を用いたウェット研究による検証段階へと進めています。

■第 2 弾共創プロジェクトについて

第 2 弾プロジェクトにおいても、両社は皮膚科領域を対象に、炎症性疾患における新たな創薬標的候補の探索に取り組めます。

マルホが長年培ってきた皮膚科学・創薬研究に関する専門的な知見と、FRONTEO の AI 解析技術および創薬研究者の調査・仮説構築力を組み合わせ、革新的医薬品の創出とアンメット・メディカル・ニーズの解消を目指します。

■FRONTEO 取締役/CSO（Chief Science Officer） 豊柴 博義コメント

「第 1 弾の共創プロジェクトで得られた成果が評価され、マルホ様と新たな標的探索に取り組め

ることを大変うれしく思います。また、マルホ様の中核である皮膚科領域において、今後の研究開発に継続して関与するパートナーとして FRONTEO を選んでいただいたことを、光栄に感じています。

DDAIF の強みは、AI による解析にとどまらず、そこから得られた新規性の高い候補について創薬研究者が調査・考察し、エビデンスに基づく仮説として構築することで、次の研究段階につなげていくことにあります。今回のプロジェクトにおいても、マルホ様の皮膚科学に関する深い知見と FRONTEO の技術・知見を融合し、新たな創薬の可能性を切り開いてまいります。」

- * 1 2025 年 7 月 10 日付プレスリリース：FRONTEO とマルホ、Drug Discovery AI Factory を活用した皮膚科領域における創薬標的探索に関する共創プロジェクトを開始、<https://www.fronteo.com/news/pr/20250710>
- * 2 方程式駆動型 AI「KIBIT」：FRONTEO が独自開発した人工知能（AI）。方程式を用いることで非連続な発見、因果関係の把握、高い再現性を実現。学習プロセスの軽量化によりパソコン 1 台で稼働。日米欧で特許取得済み

■ マルホ株式会社について URL：<https://www.maruho.co.jp/>

大阪市北区に本社を置く、医療用医薬品等の研究・開発・製造・販売を行う製薬企業です。創業は 1915 年、従業員数は 1,632 人（2025 年 9 月末）です。2025 年 9 月期の売上高は 789 億 24 百万円でした。「あなたといういのちに、もっと笑顔を。」をミッションに掲げ、誰もが笑顔で暮らすことのできる社会の実現を目指しています。

■ FRONTEO Drug Discovery AI Factory（DDAIF）について

【ご参考：製薬企業およびアカデミアとの取り組み】

URL：<https://www.fronteo.com/news/ddaif-list>



「FRONTEO Drug Discovery AI Factory（DDAIF）」は、自然言語処理に特化した方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」（日本・欧州・米国・韓国特許取得済*）と、FRONTEO の創薬研究者および AI エンジニアの知見を融合した AI 創薬支援サービスです。疾患関連遺伝子ネットワーク

の解析や、標的分子候補に関する仮説の構築を通じ、医薬品開発における研究者の意思決定を強力にサポートします。本サービスはすでに複数の大手製薬企業で導入され実績を重ねています。

*Drug Discovery AI Factory に使われている技術は、FRONTEO が日本および欧州、米国、韓国で計 21 件の特許権を取得しています。

URL：<https://lifescience.fronteo.com/products/drug-discovery-ai-factory/>

■株式会社 FRONTEO について URL : <https://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT (キビット)」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術（日本・欧州・米国・韓国特許取得済）は、汎用型 AI とは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、「KIBIT」の技術が創薬の仮説生成や標的分子探索にも活かされています。



「KIBIT」の独自技術およびアプローチを通じて、「集合知に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、[ライフサイエンス AI](#)、リスクマネジメント（[経済安全保障分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野](#)、[ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野](#)、[リーガルテック AI 分野](#)）、DX（[株式](#)

[会社アルネッツ](#)）の各事業で社会実装を推進しています。

2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国で事業を展開。資本金 915,057 千円（2026 年 6 月 30 日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、Drug Discovery AI FactoryはFRONTEOの日本および欧州、米国、韓国における商標または登録商標です。

＜報道関係者のお問い合わせ先＞

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email : pr_contact@fronteo.com 電話 : 080-3449-6844

＜ライフサイエンス AI 事業に関するお問い合わせ先＞

株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部

<https://www.fronteo.com/ja/contact/business>